



広報

利尻

人口と世帯数

世帯数	1.608
人口	7.983
男	4.028
女	3.921

昭和45年2月28日現在

昭和45年3月10日発行

発行者 利尻町役場

No. 22号



大雪に見舞われた沓形市街

とびつ
ましよう。いつか役に立ちます



除雪に活躍するHTRロータリー

利尻町民憲章

- 一、元気で働き、豊かな産業のまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、文化を高め、平和なまちをつくりましょう。
- 一、自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 一、未来をつくる、子どものしあわせなまちをつくりましょう。

3

昭和45年

利尻山に車道開設



省形上空から見た利尻山

見晴台まで延長十四メートル

フェリーの就航が拍車

都会で働き暮す人が多くなればなるほどレジャーを求め、週末や休暇を利用して、混雑した都会から開放

され、空気のきれいな、眺めのよい観光地がますます必要となってきました。利尻、礼文島を訪れる観光客も二十万人から急速に伸びて来ましたが、途中の交通機関が整備され、スピードアップされることによって近い将来五十万人位に大き

この道路完成後は利尻島の観光も一段と大きく変わることが予想されます。本町観光産業開発のための事業であるこの道路について町民皆さんの御支援を切に願っています。

増加する時が来ることは必ずしも夢ではないでしょう。そうなりますと本町のように高台や沼もなく、自然条件に恵まれないところは、何んとしても景観を生かすための人工的な施設や、受入体制を整備しなければなりません。本町で昭和四十五年度から三年計画で実施する「車道利尻登山線」もその一つで、杵形市街より利尻山七合目見晴台まで約十四キロメートル（内二キロメートル林道完成）を巾員七メートルの車道造ることを考え、この内昭和四十五年度には約四キロメートルを陸上、海上自衛隊の応援で工事をするための取運びをしています。この車道の建設は難工事ですが旭川営林局の協力、自衛隊の機械力による応援と道よりの多額な補助等があって始めて可能な事業で

車道利尻登山線、見晴台園地全体計画

工 事 名	工 事 内 容	施 行 年 度			
		昭45	昭46	昭47	昭48
車道利尻登山線工事	区間 国有林入口～見晴台 巾5m 延長10km 伐開、伐根、切上、盛土、土砂止 側溝、火山灰入、敷碎石、危険防止さく	○ 4 km	○ 3 km	○ 3 km	
駐 車 場	50m×100m 5,000㎡ 土砂止、切土、盛土、敷地、緑コンクリート、筋芝、天芝、火山灰入、碎石敷				○
公 衆 便 所	鉄筋コンクリート建 15㎡				○
園 地	整地、筋芝、天芝、危険防止さく、 草ベンチ 15,000㎡				○
給 水 施 設	湧水を利用しての施設				○
休 憩 所	鉄筋ブロック建 50㎡				○
野 営 地	50m×100m 整地				○
避 難 小 屋	鉄筋ブロック 3.6×2.8 10.08㎡				○
		施	行	済	

◆引揚者特別交付金の請求期限は
三月三十一日までです
早目に手続を済ませましょう

民生課社会係



新教育委員に任命された小島光男氏

新教育委員に 小島光男氏の選任を同意

▼議案第五十三号 昭和四

ことし最初の臨時町議会は、去る一月三十日招集され、二月二日閉会しました。今回の臨時町議会では先に特別委員会に付託されていた昭和四十三年度各会計決算が原案どおり認定されたほか、国に準じ利尻町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案が原案どおり可決、また、教育委員佐野重一氏退職に伴う新教育委員の選任について小島光男氏の選任に同意をしたほか、次の議案を原案どおり可決し閉会しました。

▼議案第四号 教育委員会委員の選任につき同意を求めることについて。
佐野重一教育委員の退職に伴

▼議案第一号 昭和四十四年度利尻郡利尻町一般会計補正予算（第五号）才入才出予算にそれぞれ九百三十九万円を追加し、才入才出の予算総額が三億四千一十万円となりました。追加された主なものは一般会計職員の給与改定に伴う必要な経費です。
▼議案第二号 利尻郡利尻町国民健康保険特別会計補正予算（第一号）。才入才出予算の総額に四十八万二千元を追加し、才入才出の予算総額が五千二百二十四万五千元となりました。追加された主なものは国民健康保険特別会計職員の給与改定に伴う必要な経費です。
▼議案第三号 利尻町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案。この条例は先に国会で成立を見た国家公務員の給与に関する法律等の一部改正に準じ、当町の職員の給与も改定を行なったものです。

議会だより

第一回臨時会
会期四日間

ことし最初の臨時町議会は、去る一月三十日招集され、二月二日閉会しました。今回の臨時町議会では先に特別委員会に付託されていた昭和四十三年度各会計決算が原案どおり認定されたほか、国に準じ利尻町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案が原案どおり可決、また、教育委員佐野重一氏退職に伴う新教育委員の選任について小島光男氏の選任に同意をしたほか、次の議案を原案どおり可決し閉会しました。

▼議案第一号 昭和四十四年度利尻郡利尻町一般会計補正予算（第五号）才入才出予算にそれぞれ九百三十九万円を追加し、才入才出の予算総額が三億四千一十万円となりました。追加された主なものは一般会計職員の給与改定に伴う必要な経費です。

昭和43年度利尻町各会計歳入歳出決算状況 (単位千円)

会計別	才入	才出	一般会計繰入額	才入才出差引額
一般会計	307,942	301,949	—	5,993
特別会計				
清掃事業	4,156	4,156	2,246	—
国民健康保険	47,166	45,644		1,522
歯科診療施設	98,442	9,842	7,272	—
企業会計				
国民健康保険診療施設事業	収益的収入	収益的支出		収益的収支差引額
	74,996	77,691		△ 2,695
砕石事業	46,873	45,297		1,576

昭和43年度一般会計款別決算 (単位円)

歳入		歳出	
区分	収入済額	区分	支出済額
町税	21,604,176	議会費	8,757,926
自動車取得税交付金	1,558,000	総務費	46,910,281
地方交付税	150,478,000	民生費	25,964,545
交通安全対策特別交付金	58,000	衛生費	25,898,805
使用料及び手数料	10,117,904	労働費	6,074,937
国庫支出金	47,221,484	農水産業費	27,830,388
道支出金	17,046,491	商工費	7,641,863
財産収入	2,195,393	土木費	31,613,261
附入金	868,798	消費費	9,601,843
繰越金	8,749,332	教育費	72,145,628
諸収入	17,059,567	公債費	38,970,379
町債	31,000,000	諸支出金	600,000
		予備費	—
歳入合計	307,942,145	歳出合計	301,949,256

原案どおり認定される 昭和43年度各会計決算

一般会計五百九十九万三千円の黒字

昭和四十三年各会計決算認定に関する議案は、去る十二月十六日開会の第四回定例町議会に提出されましたが、継続審議として決算審査特別委員会に付託され、一

月十九日、二十日の二日間特別委員会審査の結果原案どおり認定すべきものと決定され、一月三十

ない、現産業課長小島光男氏を新教育委員に選任することにつ

いて議会の同意を求めた結果、満場一致で同意が得られました

町税の決算内訳

単位千円

総額	21,605
町民税	7,896
固定資産税	6,239
軽自動車税	252
たばこ消費税	6,845
電気、ガス税	373

日の第一回臨時会で委員長報告どおり原案を認定したものです。当一般会計及び各会計決算のあらましは次のとおりです。

本町産業振興計画から

利尻山麓の草地改良を

私達の町は、先住民の昔から漁業で名が知られ、現在もお純漁村として個々の生計がなりたっていることは皆さんご承知のとおりと思います。

日本の最北端で数多くの魚田に恵まれ、当地方は長い間多額な魚獲をほこってきましたが、近年は大型船による外洋からの大量魚獲におされてきたことや、離島であるための経費の増大や魚獲物の販路面で不利がかさなり思うように収支がとれなくなってきたのが現状です。

もちろんこれ等の隘路を一つ一つ克服して漁船漁業も、沿岸の栽培漁業も立直さなければなりません、ただ漁業にはかり全町民が嚙りついているのではなく、漁家も漁家としての生活がなりたつ数にへり、他の産業にも目を向け、ある程度ほかの産業にも従事できるのではないのでしょうか？

そこで考えられるのは加工振興、観光産業、また広々とした利尻山麓の開発であります。今回はその内利尻山麓の原野の開発について考えて見たいと思います。

この原野を牧草にかえ、牛やめ

ん羊を飼うことについて昨年第一段階の調査が行なわれました。

この調査には、故町村敬貴氏、道議会農務常任委員の一行、農務畜産の両課長以下の道技術陣が視察して当地の比較的温和な気候、土地、草生いの状況等からして先づ「可能である」と云う見方をしております。

町では早速東利尻町、礼文町とも連携を図り、今年から本格的な基盤調査のため、国、道の専門家の派遣方を要望しております。

これによりまして昭和四十四年度から宗谷支庁経済部は利尻町土地基盤調査に取りかかっており、新年度からは数々の基礎調査が進められることになっておりますが、この調査の次に対象農家や、経営方針等が立てられることになりま

す。現在のところ考えられることは、

(一) 草地は高率な補助を受け、国道、町又は漁組が、飼う人のために作ってやりたい。

(二) 対象者はこの事業に熱心な町民にさせたい。町民で適当な希望者がない場合は他町村から入植させても進めたい。

(三) 当分の間関連する施設等の町が協力を要することが考えられる。

(四) 家畜は肉牛を主として奨励したい。

以上のようなことですが、いざれ調査が進み、具体化しますと町民の皆さんの希望や意見を聞きながら進めて行くこととなります。

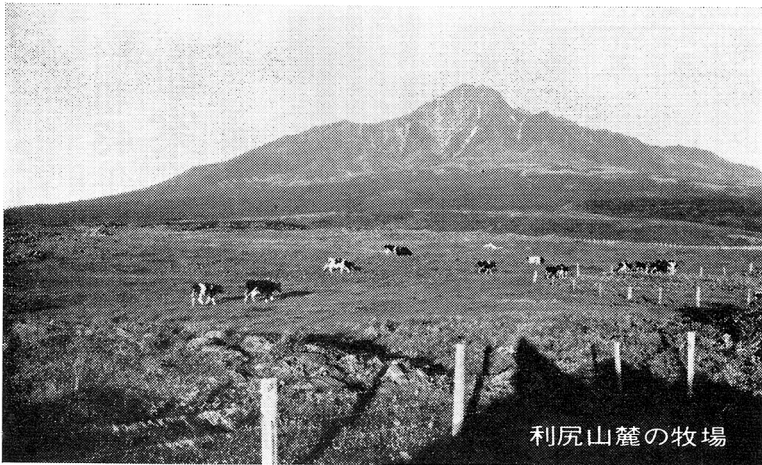
何んと申しましても新しい重要な産業なので十分な基礎調査を

要し、簡単に牛を百頭、二百頭飼うことがすぐ実現するものではないと思います。また、詳細な調査と検討が加えられ、将来の確実な見透しがたなければ国や道の協力や助成が受けられませんが、これにはある程度時間がかかります。

今や北海道は日本の酪農、肉資源基地としての将来性が全国的にクローズアップされて参りました

が、そのなかで道北の天北原野では、広大な草地改良事業が進められていきます。

この計画の中に利尻礼文三町の草地可能面積四千ヘクタールも包含されており、併せて開発されることとなりますので、この大きな事業について町民皆さんの深い関心とご協力を期待してやみません。



利尻山麓の牧場

一日一円で交通事故を補償

町民交通保険に加入しましょう

…… 申込みは 役場 窓口 で ……

近年、年金に対する国民の関心が高まりつつありますが、特に社会保障制度としての年金制度は、人口高齢化の傾向に対処しなければならぬ重要性が加えられつつ

国民年金たより

国民年金制度大幅に改正

七月から年金額を引き上げ

主な改正内容についてお知らせします。

●昭和四十五年七月から年金額が引き上げられます

四十六年から支給が開始される老齢年金はじめ、現在支給されている障害、母子年金などの年金額が四十五年七月から、別表のとおり引き上げられます。

●保険料額は四百五十円に

年金額の引き上げにともない、四十五年七月から保険料の額が月四百五十円に引き上げられます。

●所得比例年金の新設

六十五歳になってから支給される老令年金は、現在一率の給付額となつていますが、四十五年十月から新たに所得比例年金制度が新設されます。

この制度は、国民年金に必ず加入しなければならぬ人のうちで「保険料をもっと納めて年金額をふやしてほしい」という希望をもっている方々の強い要望に応じてとり入れられた制度です。

保険料は、月八百円（一般分四百五十円、所得比例分三百五十円）で、年金額は保険料を二十五年納めた場合十五万円、四十年納めた場合二十四万円となります。

●福祉年金額の引き上げ

四十四年十月から福祉年金が引き上げられました。

(1) 老齢福祉年金

月額千七百円↓千八百円に

あります。したがって、生活水準に見合う老後の生活保障を確立するため、今回「国民年金制度」の大幅な改正がおこなわれましたので、その

年金額の新旧比較表

拠出年金額			福祉年金額		
支給の種別	改正前(月額)	改正後(月額)	支給の種別	改正前(月額)	改正後(月額)
老齢年金	24,000 (2,000)	60,000 (5,000)	老齢福祉年金	20,400 (1,700)	21,600 (1,800)
障害年金	1級72,000 (6,000)	1級120,000 (10,000)	障害福祉年金	32,400 (2,700)	34,800 (2,900)
	2級60,000 (5,000)	2級96,000 (8,000)			
母子年金	55,200 (4,600)	91,200 (7,600)	母子福祉年金	26,400 (2,200)	28,800 (2,400)
遺児年金	30,000 (2,500)		準母子福祉年金		
死亡一時金	5,000 又は 7,000	10,000			

- (2) 障害福祉年金 月額二千七百円↓二千九百円に
- (3) 母子および準母子福祉年金 月額二千二百円↓二千四百円に
- (4) 夫婦受給制限は四十四年十月から撤廃されました。
- 所得制限限度額の引き上げ 四十四年五月から、所得制限の限度額がそれぞれ引き上げられました。

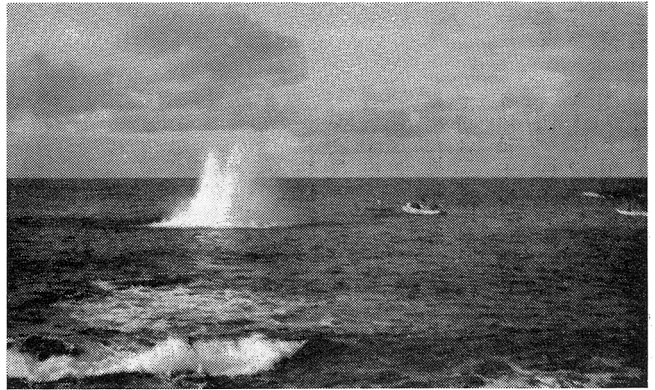
- (1) 受給権者本人が所得のある場合の限度額は年金額二十万円から三十万円に
- (2) 配偶者または扶養義務者に収入があり、その人の扶養義務者が五人の場合の限度額は、百五万円から百十九万二千五百円になりました。

人の動き

- 利尻町臨時職員に任命する 一月八日付 川村 征二
- 利尻町臨時職員に任命する 一月十七日付 不破 忠雄
- 願により退職を承認する 一月三十一日付 保母 石岡 美喜子
- 願により退職を承認する 二月一日付 産業課長 小島 光男
- 利尻町臨時職員に任命する 二月一日付 石川 芙美子
- 願により退職を承認する 二月一日付 利尻町教育委員会委員 佐野 重一
- 利尻町教育委員会委員に任命する 二月二日付 小島 光男
- 利尻町保健福祉館運営委員に委嘱する 一月十日付 笹本幸治、門田真一、三浦敬子、角谷昭夫、清水章延、松原辰男、宮森慎一郎
- 利尻町消防委員会委員に委嘱する 一月二十一日付 大門武雄、山崎時二郎、沢田末松
- 利尻町国民健康保険運営協議会公益代表委員に委嘱する 二月九日付 大門武雄、石倉寅夫、岡本七男、松野健三
- 利尻町国民健康保険運営協議会医師及び薬剤師代表委員に委嘱する 二月九日付 菅原 馨、滝沢芳男
- 利尻町国民健康保険運営協議会被保険者代表委員に委嘱する 沢田末松、茶谷正義、菊池春義、南 政義

過去6年間に 2億円を投費

本町水産振興対策事業



岩 礁 爆 破

沿岸漁業構造改善対策事業（構改事業）は、沿岸漁業の画期的振興をはかり、他産業との所得の均衡を保ち、経済成長の波にのり遅れないよう漁業の安定策として行なわれたのであります。

当町は昭和三十七年に日本海北部地域の指定をうけ、町内漁業の現状と水産就業者及び漁船勢力の推移等を調査研究のうえ、漁業協同組合と緊密な連繫をもって当町の十年後における水産業のあり方を企画し、漁業所得の増大と水産振興を目的に昭和三十八年水産基本法とも云うべき沿岸漁業等振興法（沿振法）が公布施行と合わせて、関係官庁の指導を

うけながら、構改事業計画をたて、昭和三十九年度から昭和四十二年までの事業実施年次が一応終り、昭和四十三年から補正整備として継続実施を行ない今日にいたっております。

この実施期間中において構改事業及び水産振興事業を行なった町内の実績は別表のとおりで、あと一步と云うところでありますが、離島の特殊性にかんがみ、流通面の問題や、特に実施第一年目である昭和三十九年は杵形市街における大火のため構改事業の繰上げ、または繰下げ実施を余儀なくされさらに国や、道の補助予算枠の関係で予定の計画が実施できませんでした。

一方所得増加の点をみますと、昭和三十七年以前三ヶ年平均年産額五億円が昭和四十一年から昭和四十三年までの三ヶ年の平均年産額は六億六千三百万円となり、一億六千万円の増加を示しており、これは物価の変動に伴なう魚価の上昇によるものも含まれますが、諸物価の高騰のなかにある魚価の上昇率はいたって低い点を考え合わせますと魚獲生産量の増加こそ最大の原因であり、特に海藻類の生産増加は、昭和四十二年におけるこんぶの倍増は別としても、減産の一途をたどっていた往年よりは僅かずつながら年次増産されていることは構改事業による漁場改良造成のもたらした効果及び漁船漁業者が意欲的に経営近代化を

図り、漁生獲産に努力した結果であるものと思われれます。

しかしながら当町の漁閉期における出稼者の多い点は、漁家経済がまだまだ不安定であることで水産振興の促進対策を一増強化する必要にせまられています。このことは、当町ばかりでなく、全道全国の等しい沿岸漁業の現況と云われております。

国では、昭和四十四年において漁業近代化資金助成法を公布施行しましたが、さらに構改の補正整備と云う消極的なものでない第二次の構改事業制度を実施すべく作

業を進める模様であり、加えて本道水産指導関係機関においては沿岸漁業開発整備法や水産技術促進法等の立法化を国に対して要望する気運にあるとともに水産教育の充実などを図るよう検討されていることはまことに心強く、今後の水産振興の促進対策に希望をもたれるものであります。地理的に悪条件を克服し、離島における本町水産業の発展に漁業者、水産加工業者及び関係者が一体となつて一層努力したならば恒久的な漁家経済安定の基礎を築くことができると考えます。

利尻町水産振興対策事業実績調

(39年度～44年度まで)

単位千円

事業名	総事業費	国道費	町費	漁協その他
漁獲増産対策	140,790	127,168	3,385	10,237
水産試験調査研究	2,253	380	785	1,088
漁獲物処理改善対策	49,100	22,260	622	26,218
加工振興対策	35		35	
漁船保全対策	8,060	2,588	4,825	647
防災対策	3,265	650	1,175	1,440
後継者対策	482		482	
漁業近代化対策	3,615	2,527	100	988
災害凶漁救済対策	9,963	941	544	8,478
合計	217,563	156,514	11,953	49,096

ことしも税金の申告期限が近づいてきました。

まだ申告の済んでいない方は早めに役場又は支所に申告書を提出して下さい。

所得税の申告書を提出した人は個人の事業税、住民税の申告をする必要はありません。しかし、所得税の申告書を提出する必要のない人でも、個人の事業税、住民税については申告をし

三月十六日は 所得税 事業税 住民税 の申告期限です

なければならぬ場合があります。

●所得税

所得税は、前年中の所得について三月十六日までに確定申告をして納税することになって

●個人の事業税

個人の事業税は、前年中の事業所得について三月十六日までに申告をして、八月と十一月の二期に分けて納めることになって

います。

この税は、昨年の事業所得金

額が二十七万円を超える人で、所得税の申告書をださなかった人が申告することになって

●個人の住民税

個人の道民税と市町村民税をあわせて三月十六日までに申告をして、六月、九月、十一月の三期に分けて納めることになって

います。

ちがいますが、前年中の所得金額がおおむね十二万円を超えた人、または給与所得者で、給与所得以外の所得があった人は、申告をしなければなりません。

●申告をしなかったとき

これらの申告をしなかったときは、いろいろの控除が認められなくなり、その分だけ余分な税金を納めなければならぬようになりますから、忘れずに申告をするようにしてください。

なお、くわしいことは役場税務課へお問い合わせください。

連載 保健婦メモ

シリーズ⑨

大根の葉は総合ビタミン食

「流れ行く大根の葉の早さかな」と云う俳句があるとおり、大根の葉ほどそのすばらしい価値を忘れられ、軽んじられている食品もまれでしょう。

ビタミンAはウナギの三倍、B1は納豆の六割増し、B2は牛乳の二倍、Cは温州みかんの二倍半とまるで総合ビタミン剤のように各種のビタミンが入っています。

昔は大根の葉を浅漬にしたり、ごはんに炊きこんだり、軒の端に干して干葉にして、いろいろな料理に使ったりしたものです。

現代の主婦たちは、ずっと栄養価値の低い水っぽい大根の脚ばかりたべて大根の葉は捨ててしま

ます。

出るとき、寝るとき

火の元をたしかめましょう

◎くらしの中に防火の習慣を

▽出るとき、寝るとき火の元をたしかめましょう。

▽たばこは、灰皿のあるところで吸いましょう。

▽コンロ、ストーブのまわりは、いつもきれいに片づけ

ておきましょう。

◎家庭の中に防火のくふうを

▽火を使う場所を燃えないようにする工夫をしましょう。

▽火災を早くみつめる器具をとりつけましょう。

▽すぐ逃げられるように、かんたんな避難の器材を用意し

ましょう。

▽ふだんから消火の準備をしておきましょう。

切に保存して冬の期間の野菜不足をおぎなひましょう。

「三月は納税貯蓄組合最後の払出し月」

三月は役場の決算期です。また三月は納税貯蓄組合の昭和四十四年度納税最後の払出し月でもあります。役場では三月十五日頃から町税の払出事務を行う予定でありますので、まだ完納になっていない組合員の方々是非この月に完納されますようご努力下さい。

またこの月をもって各納税貯蓄組合の納税成績も決定されます。尚、三月で完納されない方々には督促料を発生、一件二十円の督促手数料が加算され、合わせて延滞金も徴収されることになり「税法」の強い処分を被ることになります。

税はとられるものではなく皆様

が自ら申告して納めるものです。

「完納の人のことばに力あり」
税務課徴収係

電灯料金の自動振替払い

この4月から 信用部 各単協のでも致します。

利尻電気

名前がもれていませんか

昭和四十五年度新入学児童名簿から

利尻町教育委員会では、次の名簿の通り昭和四十五年度新入学児童を調査いたしました。が、名簿に登録されていない児童、また氏名等に誤りがある場合はお手数でも利尻町教育委員会（電話一四五番）へお知らせ下さい。

なお調査は昭和四十四年十二月一日現在です。

沓形小学校

北村里香、角谷真奈美、小野さゆり、香川 真、海老名邦男、齋藤文治雄、岩佐博文、阿部洋司、佐伯 広、和島隆夫、大津由紀枝、佐藤由広、其田康広、粒見昌代、本間幸枝、長谷川隆二、松野智織、今野 尚、猪又洋子、木村瑞枝、藤江貴史、志摩隆広、佐藤正一、水倉由香、熊谷美嗣、永田 功、横野俊昭、工藤佐都子、糸谷明子

北島利光、成田範広、田鍋信夫、小玉紀子、本江ひとみ、酒井ゆかり、高田政紀、飯田正司、堀井千春、中原憲彰、小林広美、三上満、三上聖二、石川順子、柴田靖至、小坂谷真一、藤田 衛、西島信希、佐藤直之、塩谷ゆかり、菅原優子、齋藤春恵、松本明美、西垣直樹、沢向弘行、佐藤政弘、吉田美由紀、今野幸広、幅口尚紀、山本 学、熊谷 巧、島山美伸、新湊小学校

◎出生届 十四日以内
▼死亡届 七日以内

齋藤基仁、石川みえ、川端達也、川端恵利、井田清広、角脇栄子、沢木瑞則、大窪美代、久連小学校
川原昭博、川原利博、石垣康子、石垣智幸、川端秀子、佐藤英樹、小野春美、仙法志小学校

◎出産おめでとう
出生者氏名 父 続柄 住所
木村 拓也 実 三男 神居
北島 友幸 正利 二男 日出町
森田 敦 勝弘 長男 日出町
鎌田 裕子 勝身 長女 本町
小中 幸恵 利明 長女 緑町
三上まゆみ 博 長女 政治
鳴海恵津子 正吉 三女 御崎

名簿の窓口

清水秀人、町村紀文、藤野勝司、五十嵐博幸、米脇辰也、峨家浩樹、安宅志ぶき、赤坂幸美、寺崎美香、大島 真、飴田利之、笠島 豊、野本和弘、武山美香、田原琴代、高森美由紀、原崎こずえ、吉田恭一、夏井一向、長谷川淳司、山下由美、元井寿昭、藤井真美子

喜多 敦 亮 二男 久連
北辻 智恵 末松 二女 神磯
中島 善行 千秋 三男 本町
竹島 梨香 公一 二女 元村
丸田 優子 進 二女 長浜
倉野 智子 良一 長女 元村

◇結婚おめでとう
渡辺 康広 富士見町
福井 静子 富士見町
佐藤 正勝 種富町
菅 愛子 種富町

▼謹んでおくりやみ申し上げます
高松 ハル 富士見町
三日市作次郎 新湊
有馬 ツヤ 泉町
柿元 恒吉 本町
田端栄太郎 元村
桧山 サノ 本町

新年度広報「利尻」発行計画について

例年には見られない大雪が続いた毎日でしたが、ようやく峠を越え、春の訪れを感じさせる今日、この頃ですが、町内の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。広報「利尻」もみなさんのご支援によりましてようやく二十二号をむかえました。が、新年度は次により発行を計画しております。少しでもよい広報紙を発行するため、当広報紙に対してのご意見ご要望等がございましたら関係の方へご連絡下さい。

第二十三号 四月二十日
第二十四号 六月十日

利尻の俳句



第二十五号 八月 十日
第二十六号 十月 十日
第二十七号 十二月 十日
第二十八号 一月 十日
第二十九号 三月十日

初日影抱いて雪嶺々々し 小田桐 虚味
初富士の晴れたる縁え試歩の杖 清水 蛭月
初 暦閉ぢまた開き子の希い 赤津 裕子
初 詣他人に委ねてゆく歩幅 志摩 索洋
初 詣他人に委ねてゆく歩幅 小田 桐きぬた
初便り絵も添えてある孫の文 清水 さやか
笑初め母の血を引く片笑窪 森田 涛声
大股に長男誕生初出勤 高山 のぶ
初凧の夫の磯舟おしおろす 三浦 敬子
初髪や 簪の位地さめかねて 志摩 恵女
初晴て紫紺の海峽山抱けり 山口 夜舟
初 詣路辺の木立に令刺む 斉藤 俊
脂粉濃く灯明に照り初詣 月

道夫一家

